

## 地域産業・夢おこし委員会事業計画

委員長 米持 利則  
副委員長 加藤 泰輔  
副委員長 草間 竜也  
幹事 高谷 俊彦

### <基本方針>

近年、地域産業の空洞化や若者の都市部への人口流出が進み、地域を取り巻く環境は厳しさを増しています。このような状況下で地域をより発展させるために、各地で地域色を活かした様々な「まちおこし」が行なわれています。わがまち上越に目を向けると、四季折々の気候の変化や地理的条件も重なって、豊かな農産物や食文化が存在しております。こんな時代だからこそ地域の宝である「農・食」を最大限に活かし、上越をより魅力のあるまちにする必要があると考えます。

当委員会では、上越の豊かな自然や風土に育まれた「農・食」を再認識し、我々自らがそれに誇りを持ち、上越のまちおこしの可能性を切り拓くべく活動します。地域特性や背景、文化など様々な切り口から見つめ直し、市民が上越の「農・食」に誇りを持てるよう広く発信していきます。また、我々自身が「農」の知識を深めた中で、地域色溢れる「食」を創造し「まちおこし」を展開します。我々だけではなく他団体とも連携し、自らがまちを盛り上げるという意識を持ち、まちの活性化に向けて活動します。そして、この新たな「食」を上越の宝として打ち出すために、メディアや青年会議所としてのネットワークを活かします。また、色々な地域との連携を計り、地域内外の人々に上越の魅力を伝播する事業を開催します。北陸新幹線開通を間近に控えた今、地理的条件を有効に活用するために、そしてこの活動が一過性のものにならないように、我々が牽引役となって地域とともに協働します。併せて、市民の中から広く賛同者を集い、「食によるまちおこし」を根付かせるための活動を展開します。これらの活動が地域力を高め、地域産業を活性化する一翼を担えるよう、夢ある上越の創造に向けて取り組んでいきます。

「食によるまちおこし」が根付くことにより、地域経済への波及効果に繋がります。そして、各団体や行政・市民が1つの「和」となるまちおこし運動へと発展し、市民の間で「まちおこし」に対する意識の高揚を生み出します。その結果多くの人が来越し、来越者にもう一度訪れたいと思わせる「魅力あるまち上越」へと発展します。

### 委員会職務分掌<事業内容>

1. 「農・食」に誇りを持ち、その魅力を市民に向け発信します。
2. 地域色溢れる「食」を創造し、「食によるまちおこし」を根付かせる活動を展開します。
3. 5年後10年後に向け、地域産業活性化に繋がる事業を実施します。
4. 9月担当例会の開催
5. 戦略的な会員拡大運動（会拡）の実践